

文化探訪旅行 (韓国古典建築研修旅行)



ヨロブル、アンニョンハセヨ。(みなさん、こんにちは)
今年度のメインテーマ『文化探訪』なんでもみてもみようの一環として同好会活動(ハングル)もある韓国での「古典建築研修旅行」に10月22日～10月24日に行って来ました。

以前のイメージと違い今は、特に奥様族に大流行のドラマを始め「韓国」という国が流行しています。そんな今の韓国を自分の五感を使って確認する事も一つの目的で旅立ちました。

今回は、とにかく真面目な旅行でした。陽の高い内は「昌徳宮(チャンドックン)」「水原(スウォン)」など思い出に残る古典をたくさん見てきました。なかでも「韓国民俗村(ハングクミンソクチョン)」は、いにしへの町スウォン市から少し離れた場所にあり、伝統文化資料を収集、保全して韓国文化・歴史がよくわかりました。食事も韓国のイメージで言えば、カルビと思いますが、日本ではあまり口にする事のない精進料理などシンプルな食事を堪能しました。

夜は、今世紀に認められつつある最新ミュージカル「乱打(ナンタ)」(日本でも公演されたので観た人もあると思いますが)の鑑賞や地下鉄を利用したり、屋台を求めて徘徊したりとにかく真面目な旅行でしたが、韓国の魅力が増えて、また行ってみたいと思っています。

賛助会幹事長 上村 嘉孝

ワンデーエクササイズ

去る11月19日、第12回ワンデーエクササイズが昨年と同じ中央公民館(岡山市小橋)第5ホールで開催されました。今年の課題は「多世代が生活する駅前を考える」住まう、遊ぶ、買う、働く...街に生きる。という副題で岡山の玄関口である岡山駅周辺、特に再開発等で目まぐるしく変化する西口界隈の西口北側に隣接する地区を課題地として設定しました。

参加は9校の16チームと学生を合わせて154名でのコンペとなりました。審査委員長には、みかんぐみの加茂紀和子先生を迎えて行いました。女性らしい感性と気配りの中で、作業中から審査発表にかけ終始和やかな雰囲気での審査となりました。今回の受賞はどれも甲乙つけ難く大変難航し急遽、優秀賞4点、特別賞2点、日本建築学会賞1点の受賞となりました。優秀賞は中国デザイン専門学校Aチーム及びBチーム、岡山県立大学Bチームと岡山理科大学専門学校Aチームに、特別賞には美作大学Aチームと山陽学園短期大学IIチームに、日本建築学会賞は岡山科学技術専門学校Bチームに決まりました。熱のこもった審査に時間もだいたひ後半の交流会に食込みましたが、熱い一日も無事終了しました。参加して下さった学校の方々、共催者、後援者の方々には大変お世話になり誠に有難うございました。

また、作品の一般公開展示が11月30日と12月1日の2日間 ルネスホール(旧日本銀行岡山支店)にて多くの作品が展示されました。

参加学校: 岡山県立大学、山陽学園短期大学、専門学校岡山情報ビジネス学院、岡山理科大学専門学校、岡山科学技術専門学校、中国デザイン専門学校、川崎医療福祉大学、ノートルダム清心女子大学、美作大学

事業委員長 藤沢 道太

優秀賞 岡山理科大学専門学校 Aチーム

優秀賞 岡山県立大学 Bチーム

優秀賞 中国デザイン専門学校 Bチーム

特別賞 美作大学 Aチーム

特別賞 山陽学園短期大学 IIチーム

特別賞 日本建築学会 中国支部 岡山所長賞 岡山科学技術専門学校 Bチーム